

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達ひろば まんまる				公表日		2025年 3月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		毎日お子さんの人数に合わせて配置数を確認している。机、椅子、おもちゃの配置について人数や利用児の動きに合わせて配慮できている。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		子供の様子に合わせ、その都度職員配置の検討を行っている。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		バリアフリーになっている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動内容に合わせ、環境設定を行っている。支援終了後、使用した部屋、おもちゃ、トイレ掃除、消毒を行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5						
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		パートの方も含めてお子さんのお昼寝の時間を利用し話し合うように意識している。週終わりにミーティングを行なっている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		他部門からの意見を求めたり意見を反映したりしながら、業務改善に繋げられるよう取り組んでいる。その内容を全員が把握できるようにしていく。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	個々で研修に参加している	直接支援に関する内容については、個々に対外研修に参加することが多いのが現状。また、その他必要事項については、全体のミーティングで研修の場を確保するようにしているが、十分な時間を割くことができないのが現状。計画立てて取り組むことができるよう、年間の見通しをもって時間を確保できるようにしていく。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	準備中 個別支援計画の作成、提供を行っている。	公表に向け引き続き準備していく。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		遠城寺、感覚プロファイル、行動観察、聞き取りなどに用い分析している。利用児の日々の成長や変化について共有し、家庭での様子を含め保護者の方からの話を職員が把握し共有するようにしている				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		必要に応じ、バインランドも用いている。遠城寺式発達検査、サポートファイル、感覚プロファイル等を利用している。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5						

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		当日だけでなく、前日にも確認を行っている。 活動ごとにそれぞれの職員が担当する利用児を決めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		午睡時、支援終了後等に共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援記録を毎日記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	会議としては行っていないが、情報の聞き取りなどはいつでも行うことができています	相談支援専門員によるモニタリング時は、児発管が情報提供や共有を行ってきた。そのことを所内で把握できるようにしていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		2	該当者なし	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		連携は図っているが、直接的な助言の機会は設けていない。 園に関する個別の助言はいただいている	就
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	検討課題として取り組んでいく。	検討課題として取り組んでいく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時の時間や連絡ノートを活用している。 個別支援を行った後に、保護者と話しを行う時間を設けている。 連絡ノートや、個別支援後、送迎時に話すようにしてる。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		パンフレットを掲示している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		連絡ノートや、個別、参観時にアンケートを記入していただき、家庭での様子や気になっていることなどについて確認し、面談などを行っている。 日々の連絡ノートでのやり取りや個別支援後、送迎時に話を聞く機会を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者参加型の支援や学習会は設けている。 その中で交流できる雰囲気づくりには務めている。 兄弟が参加できるイベントを開催した。	左記取り組みについて、スタッフ間で共通の認識がもてるようにしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		法人内で新規事業開所にあたり、新たなHP開設を準備中。 その中でも交流できる雰囲気づくりには務めている。 月に1回お便りを発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		個人情報や感染症対策も考慮しながら検討していく。 積極的に招待する機会を設けてはいないが、依頼があれば対応を検討することは可能。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	把握しきれないところがある。	スタッフ間で共通の認識や理解が得られるようにしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		月1回の防災訓練は行っているが低年齢の為、子供たちが安心して防災頭巾をかぶることができるところを優先している。 毎月避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		2	該当者なし。 アレルギーを持った子供の利用がないため。 家庭からお弁当を持ってきており、事業所から食べ物を提供することはない。 該当するお子さんがいなかった。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画とは？	スタッフ間で共通の認識や理解が得られるようにしていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	避難先の説明は行っている	スタッフ間で共通の認識や理解が得られるようにしていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		記載とミーティング時に報告、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2	該当者なし。 指針は示している。 該当するお子さんがいなかった。	スタッフ間で共通の認識や理解が得られるようにしていく。